

研究の概要

20 25 年 5 月 1 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	保険診療下における年齢別胚移植基準の検討：低グレード胚の妊娠率と生産率の解析
代表研究者 (所属・氏名)：	医局 中岡義晴
研究の目的：	2022年4月より生殖補助医療が保険適応となり、胚移植の回数が制限される中、特に40歳以上では3回までとされているため、移植する胚の選択基準が重要となる。当院では通常、Gardner分類で3BC以上の胚を凍結・移植しているが、低グレード胚（特にTE-C胚）の妊娠率および生産率について年齢別に検討し、保険診療下で凍結・移植対象とする胚盤胞グレードの適切な選択基準を模索することを目的とした。
調査データ該当期間：	20 19 年 1 月 1 日 ～ 20 23 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2019年1月～2023年12月に当院で実施された凍結融解単一胚盤胞移植（PGT胚を除外）4450周期を対象とした。妊娠成立はGS確認と定義した。Day5およびDay6胚をTE評価（TE-A、TE-B、TE-C）に基づき4群（A群：Day5・TE-A/TE-B、B群：Day5・TE-C、C群：Day6・TE-A/TE-B、D群：Day6・TE-C）に分類し妊娠率、生産率を比較。また39歳以下と40歳以上でTE評価別に比較した。
個人情報の取り扱い：	個人が特定できないように連結可能匿名化を行い、個人情報を保護しています。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6534-8824 生殖技術部門 阪本なつき
備考	